

踏 み 跡 < My mountains >

西丹沢	山中湖から菰釣山(こもつるしやま)へ	No. 107
-----	--------------------	---------

丹沢と言うと普通誰もが小田急線を利用することを考えるが、西丹沢(通称=ニシタン)と呼ばれる中川川以西の山域に入る場合は山中湖から入った方が便利なが多い。おまけに、富士が思う存分眺められるという得もあるから捨ててはおけない。さらに、私のように東京の西の郊外に住んでいると、交通の便利さからも魅力的だ。

昭和43年4月21日

御坂の山へ出かける時と同じように、高尾発の早朝の電車。富士吉田駅で待ち時間なしで8時発の平野行のバスに飛び乗ることができた。山中湖、富士山、バスの車窓からの眺めは文句の言いようがない。

平野着8時45分、バスを降りてからもしばし富士を眺める。平野の富士は大きく肩を怒らせて、河口湖からの秀麗さに比べるといかにも不細工な感じがしないでもない。(右写真)



シンメトリックですらりとした河口湖からの富士を良しとするなら、いささか劣るのかもしれないが、平野からの富士には荒削りに岩目を見せた姿はなく、白く滑らかな肌触りがある。

振り返り振り返り富士を見ながら丹沢(と言うよりも神奈川県)への峠道に入る。高度を増すにつれて富士の右に南アルプスの連山が姿を現し、しかも風はさわやか。

切通峠(きりどおしとうげ 1050m)9時20分、勿体無いような景色の中で、アンコロモチを食べてしばしの日向ぼっこ。東側の世付(ゆづく)国有林はまさに春の緑が一杯。9時35分出発。

大柵の頭(1268m)10時30分、西の丸(1297m)11時50分、少しずつ高度を上げて行く。

菰釣山の頂上で昼食をとるつもりだったが、朝食が早かったせいか空腹でたまらず、12時30分途中のピークで昼食と中休止。13時05分出発。

谷一つ隔てて御正体山が、さすが……と言いたくなるような貫禄。富士は相変わらずの姿だが、歩が進むにつれて僅かずつ形を変えているのに気がついた。

待望の菰釣山(こもつるしやま 1379m)13時30分。数ある丹沢の山々の中で、菰釣山という山名は、桧洞丸(ひのきぼらまる)、加入道山(かにゆうどうやま)、畦ヶ丸(あぜがまる)とともに



に名前に惹かれるところの大きい山だ。

朝からの行程の中で始めて一人の人間に出会った。なんとなくうれしさを感じた一瞬。ススキの枯れた一叢が何とも言えず素晴らしい。リンゴを食べて13時45分出発、城ヶ尾峠への下りに入る。

踏 み 跡 < My mountains >

城ヶ尾峠(1160m)14時40分、南へ下り一旦大又沢に下りた後、また畦ヶ丸から南へ伸びる尾根を二本杉峠(746m)で越え、山ウド、フキノトウを右左に見やりながら中川川の細川橋へ下った。
牛乳を飲んで、17時25分のバスで新松田へ。新松田19時02分発の丹沢号で帰った。

帰宅後ニュースを聞くと、「今日は好天に恵まれ、丹沢には三万人の人が……」と報じていた。
信じられないような(ざまあ見ろ、と言いたくなるような)、静かな素晴らしいニシタンだった。

以上

(修正・更新:2023年12月)